瑞浪青年塾だより

新第６号
平成22年
12月26日発行
中日本生涯学習センター

平成二十二年度、第六回瑞浪青年塾が中日本生涯学習センターで十二月四日～五日の一泊二日、三十名（スポット参加含む）で開催されました。

今回のテーマは「いのちのつながり」です。初めに十五分間「気付きのワーク」を行い、その後伊賀モラロジー事務所の森下聖司講師に講義を担当して頂きました。人として忘れてはならない「いのちのつながり」について、貴重な体験発表・講義を聞かせて頂きました。

今回のテーマ「いのちのつながり」

〈ビンゴゲームの景品です。参加者の皆さんに持ち寄って頂きました〉

〈講義を担当された森下講師〉

＜朝の清掃奉仕の後の朝食の様子です＞

＜早朝講話の森下講師と参加者の皆さんの様子です＞

〈懇親会で皆さんと楽しい一時を過ごしました〉

青年塾参加レポート

中日本センター　笹山　善和

今回のテーマは「いのちのつながり」ということで、難しいテーマの時に担当に当たったものだと思っていたのですが、とても心に残る講義で、感じることが多くありました。

講義の前に気づきのワークというものを行いました。今まで生きてきた中でお世話になった方の名前をリストアップしようというものです。スラスラと書ける家族、友人等が出尽くしたあと、なぜか当時自分の苦手だった人が出てきました。自分にマイナスのことをしてくる人もまた、自分を正してくれている人の一人と考えられるようになったのかなと、ここに来て少しは成長できたのかな？と感じました。

講義では森下講師が体験談を交えて命のつながりの大切さを話してくださいました。講師の話は、結婚していない、ましてや子供もいない私には想像もつかない話でした。しかし、親がどれだけの思いで子供を待っているのか、そしてこの世に生まれるということの尊さ、命は簡単に生まれるものではないということを講師のお話で感じることが出来ました。話を聞いている間、自分は今なぜここにいるのか、なぜ生きているのかを考えていました。これだけ親の思いを受けている自分は自分だけのものではないと考えずにはいられませんでした。そして個人ではなく人としての目的、なすべきことがあるということを感じました。個人にとらわれ続けている私ですがもう一度目的を見つめなおしたいと思います。

参加者のご感想

今回の瑞浪青年塾はテーマにあった講義をして頂き、とても参考になるお話を聞かせて頂きました。また、気付きのワークでは、お世話になっている方々を知る良い機会になりました。これからの勉強に役立てさせて頂きます。

今回のメニュー

1、鍋（キムチ・もつ・豆乳）
2、フライドチキン
3、差し入れの品々

※社会貢献活動のご紹介

ただ今、中日本生涯学習センターでは、ペットボトルのキャップを集めています。皆様、ご協力の程、よろしくお願い致します。

※平成二十二年度瑞浪青年塾参加者（スポット）募集中です。

瑞浪青年塾に参加を希望される方は、ドシドシご応募ください。申し込み方法は電話・ファックス・メール等で受付ております。

次回のご案内

次回の瑞浪青年塾はテーマ『社会に何ができるか』です。期間は二月十九・二十日。

講義担当講師は、紀南事務所、楠大志講師、体験発表者は美濃白川事務所、榊間大祐様です。スタッフ一同皆様を心よりお待ちしております。お誘いあわせの上、ご参加下さい。

編集後記

今回も楽しい瑞浪青年塾を開催する事が出来ました。参加者の皆様には、ご多用の中、三十名という多くの方に来て頂きました。特に、クリスマス青年塾恒例のビンゴゲームが盛り上り、とても嬉しく思いました。

また、学びでは、グループに分かれての話し合いがいつも以上に盛り上がりました。次回は平成二十二年度最後の瑞浪青年塾（中日本センター主催）になりますので、皆さんに喜んで頂けるよう、スタッフ一同頑張ります。

中日本生涯学習センター
電話　〇五七二－六六－三〇八〇
FAX　〇五七二－六六－三〇三〇
メールアドレス
mizunamiC@moralogy.jp
こちらに出欠のご返事をください